

令和5年度 社会科

教科	社会科	科目	地理総合	単位数	2	年次／コース	高校2年生／GA/GS
使用教科書	東京書籍『地理総合』 東京書籍『新高等地図』						
副教材など	啓隆社 地理総合演習ノート						

1. 学習の到達目標

●科目について

① 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。

② 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。

③ 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深めます。

④ 自らの考えを他者に伝え、他者の考えを自らに吸収するスキルも育成します。これらの学習を通じて、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざします。

●コンピテンシーについて

上記の目標を達成することが、本校の学校コンピテンシーである「探究力」を養うことに繋がると考えております。

2. 学習方法について

●授業中において

講義一辺倒ではないので、みなさんも意見を積極的に聞かせてほしいと思っております。頭な中をアクティブにし、一緒に地理の学習を楽しみましょう。

●家庭学習において

授業の予習、復習はもちろんですが、テレビやネットニュースまた新聞などにも積極的に目や耳を傾けてください。

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	A：知識・技能	B：思考・判断・表現	C：主体的に学習に取り組む態度
<p>観 点 の 趣 旨</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・世界地図や地球儀での表現方法ならびに日本の位置や領域についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・世界にみられる多様な文化について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・さまざまな産業とそれらの分布について基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・さまざまな要因がからむ地球的な課題についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 ・変化に富んだ日本列島の自然環境、大きな被害をもたらす自然災害について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・多発している日本列島の自然災害とその克服について、基本的な事柄と追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ・地域調査の手順や注意すべきことを理解している。 ・地図や統計・画像などの諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置に関する事柄について、緯度・経度や世界地図・地球儀や領域の特徴をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・文化の違いがなぜ生じるかということについて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・世界各地で多様な地形や気候・植生がみられることについて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・さまざまな産業の特徴や産業立地、それらの変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地域の文化や人々の暮らし、産業の違いを、それぞれの地域の自然環境との関連に着目しながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・地球的な課題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本列島の地形や気候と自然災害について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・日本列島のさまざまな自然災害と防災対策について、地域性や日常生活との関連をふまえて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ・身近な地域の特徴を、設定したテーマに沿ってとらえ、明らかにしたことを適切に表現している 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球上の位置に関する事柄に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・文化の多様性と異なる文化の理解や共存に関して関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・さまざまな自然環境に対応した人々の生活や産業の工夫について関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・技術の発展やグローバル化などによってどのように産業が発展・変容してきたかについて、関心と課題意識を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる地球的な課題に対する関心を高め、それらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・日本列島の豊かな自然環境と近年増大している自然災害に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・深刻な日本列島の自然災害と防災に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ・身近な地域の特徴を明らかにするために、意欲的に地域調査に取り組もうとしている。
<p>評 価 方 法</p>	<p>定期テスト 発表 小テスト レポート ワークシート</p>	<p>定期テスト（論述問題など） 発表 小テスト レポート ワークシート 観察（学習状況、討論・発表など） 学習の振り返り</p>	<p>ワークシート 発表 観察（学習状況、討論・発表など） 学習の振り返り</p>

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			A	B	C		
1	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 第3章 資料から読み取る現代世界 第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境	1 緯度・経度 2 地球儀と世界地図 3 日本の位置と領域 4 地図の種類 5 地形図のルール 6 主題図の種類と読み取り 7 地理情報システムと地図 8 交通の発達 9 情報通信の発達 10 国境をこえる人々の移動 11 拡大する貿易 12 つながる世界，多極化する世界 13 文化の地域性と多様性 14 宗教と人々の暮らし 15 山地の暮らし 16 平野の暮らし	○	○	○	・緯度・経度の違いが，私たちの生活にどのような影響を与えているのか理解する。（A） ・地球儀と世界地図の違いを理解し，用途に応じて適切に利用できるようにする。（A） ・日本の位置と領域を理解するとともに，排他的経済水域の重要性を考える。（B） ・「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価（C） ・世界には多様な文化が存在すること，近年それが均一化する傾向にあることを理解する。（A） ・地形や気候が地域によってど	「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価

2	1 節 生活文化の多様性と国際理解	17 海岸の暮らし	○	○	○	<p>のように異なるのか、そしてそれらが人々の生活にどのように影響を与えてきたかを考察する。(B)</p> <p>・技術の発展やグローバル化の進展などにもない、人々の生活文化や産業及びその立地がどのように変化しているか考察する。(B)</p> <p>・「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価(C)</p>
	2 節 生活文化と自然環境①地形	18 多様な気候とその分布				
		19 熱帯の人々の暮らし				
		20 乾燥帯の人々の暮らし	○	○	○	
		21 温帯の人々の暮らし				
		22 亜寒帯・寒帯の人々の暮らし				
		23 食生活と農業の分布				
		24 工場立地の変化				
	3 節 生活文化と自然環境②気候	25 商業立地と人々の生活	○	○	○	
		26 情報産業の発達と生活文化の変化				
		27 地球環境問題(1)				
		28 地球環境問題(2)				
	4 節 生活文化と産業	29 資源・エネルギーの偏在				
		30 化石燃料から再生可能エネルギーへ	○	○	○	
		31 発展途上国の人口問題				
	第2章 さまざまな地球的課題と国際協力	32 先進国の人口問題				
		33 食料需給をめぐる問題				
	1 節 地球環境問題	34 発展途上国の居住・都市問題	○	○	○	
		35 先進国の居住・都市問題				
36 民族問題・難民問題						
2 節 資源・エネルギー問題	37 地球的課題と国際協力	○	○	○	<p>・地球環境問題の背景と影響を理解し、解決策を考察する。</p>	
	3 節 人口問題					

3	4 節 食料問題				(A) (B) ・さまざまな資源・エネルギーの特徴を理解し、生産や消費のあり方を考える。(A) (B)	
		38 日本の地形の特色	○	○	○	・人口問題および居住・都市問題に関して、発展途上国と先進国とに分けて、問題が発生する背景や特徴を理解し、解決策を考察する。(A) (B)
	5 節 居住・都市問題	39 日本の気候の特色				・食料問題の地域的な特徴や問題が生じる背景について理解し、解決策を考察する。(A) (B)
		40 地震災害・津波災害(1)	○	○	○	・民族問題・難民問題の現状と背景を理解し、改善に向けてどのような取り組みが可能であるか検討する。(B)
		41 地震災害・津波災害(2)				・地球規模で取り組むべき課題の内容や特徴を確認し、解決や改善に向けた取り組みを考える。(B)
		42 火山の災害とめぐみ				・「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価
	6 節 民族問題	43 気象災害(1) 寒さ・暑さと台風	○	○	○	(C)
		44 気象災害(2) 大雨と洪水・土砂災害				
		45 都市と自然災害				
	7 節 持続可能な社会の実現をめざして	46 防災・減災と復旧・復興				
	第3編 持続可能な地域づくりと私たち	47 調査テーマの設定	○	○	○	
	第1章 自然環境と防災	48 地域調査1 (資料調査)				
	1 節 日本の自然環境の特色	49 地域調査2 (野外調査)	○	○	○	
	50 まとめと発表					
	2 節 さまざまな自然災害と防災				・日本列島の自然環境の特徴について世界的な視点からとらえるとともに、地形と気候の両面から理解する。(A) ○日本列島の自然環境の特徴と各地域において発生する自然災害との関係性について、世界的な視点から考察する。(B) ○日本列島におけるさまざまな自然災害の発生要因について自然環境や社会環境との関わりから考察する。(B) ○自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響について多面的・多角的に考察する。(B)	

	<p>第2章 生活圏の調査と地域の展望</p>				<p>○自然災害が人々の生活や社会全体へもたらす影響をふまえ、地域性をふまえた防災・減災対策と災害に強い持続可能な地域づくりのあり方について考察する。(B)</p> <p>・「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価(C)</p>	
			○	○	<p>○ 地域調査の手順や具体的な手法を理解し、身近な地域において地域調査を実践する。(A)</p> <p>(B)</p> <p>・「3. 学習評価」に示した観点と評価方法によって評価(C)</p>	